

ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Vol.26 Summer 2013



写真：ゲンジボタル (6月撮影)



写真：吉田川

ゲンジボタル

生育場所・・・吉田川



6月になると、土の中でさなぎになって眠っていたゲンジボタルが舞い始めます。

あいち海上の森センター付近の吉田川でも綺麗な光を燈してくれます。

特集 海上の森はいま

いきものマップ作り、はじめます！
みんなの声 海上の森のマナー

この人！ <海上の森の麓に生まれて>

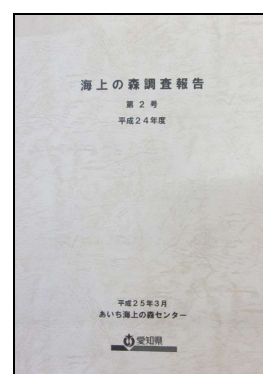
海上の森の会 事務員 中元恵子さん

あいち海上の森センターの出版物

海上の森調査報告書 第2号 (平成25年3月 発行)

海上の森の貴重な動植物の保全と活用を図るためには、森の調査を行い、結果から得られる情報をより多くの皆様と共有することが大切です。今回発行された第2号では、湿地調査 (植生・植物相・湿地環境)、希少動物調査 (ホトケドジョウ・オオタカ・ハチクマ) の結果報告、また、海上の森の会自然環境調査グループの皆さんによる海上の森生物季節調査報告などを掲載しております。希望される方には一般配布も行っておりますので、是非ご活用下さい。

発行：あいち海上の森センター



特集 海上の森はいま

いきものマップ作り、始めます!

海上の森を訪れる皆さんは、様々な動植物を観察されていることと思います。その皆さんの情報を集め、種類ごとの分布マップを作ることを目的に、展示室に情報入力端末を設けることにしました。情報を入力できるのは、センターが選定した動植物のみで、観察者の名前と、観察した日付、そしてどこで観察したかを画面上の125mメッシュ地図に入力していただきます。皆さんが入力したデータは、集計して画面上の地図で確認することもできます。

データの信頼度を高めるため、最初の利用の際は氏名と連絡先の登録をお願いしています。皆さんと一緒に海上の森の「いきものマップ」を作っていきたいので、ご協力よろしくお願ひします。

みんなのこえ
海上の森「散策のマナー」

海上の森では、散策マナーを定めています。特に、4月から8月にかけては野生生物の繁殖時期となることから写真撮影は繁殖活動に影響を与えないように注意してください。

主な散策マナーは以下のとおりです。

◎散策のマナー◎

- 一、歩道を外れて湿地や林内に入らないでください
- 二、動植物の採取は、禁止です
- 三、動植物には、不必要に近づかないでください
- 四、ペットは、連れて歩かないでください
- 五、地元の人たちに迷惑をかけないでください
- 六、動植物は、むやみに持ち込まないでください
- 七、駐車は、森の入り口駐車場など定められた所に駐車してください
- 八、火気厳禁です
- 九、自分のゴミは必ず持ち帰ってください
- 十、飲料水や食料は持参してください

展示の目玉

〈モニタリングサイト 1000 チョウ類〉

モニタリングサイト 1000 調査というのは、日本全国 1000 箇所の調査地（サイト）において 100 年間にわたり調査を実施する事業です。今回は海上の森モニタリングサイト 1000 調査の会によるチョウの調査データと結果が展示されています。色鮮やかなチョウの写真が数多く展示されていますので、是非ご覧ください。



〈ハチクマの食痕調査〉

ハチクマは夏鳥で、同じく猛禽類のクマタカに姿が似ていてハチを主に食べることが名前の由来です。展示スペースには実際の食痕調査で回収された複数のハチの巣や、ハチクマの羽が展示してあります。羽の展示には詳しい特徴が記載され、また虫眼鏡でも見るできるようになっています。

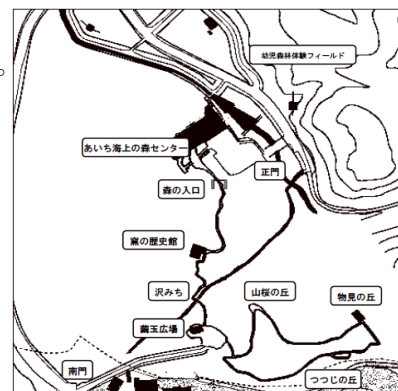
海上の森散歩



遊歩施設

あいち海上の森センターのテラスから直接繋がっている「森の入口」から入り、「沢みち」を経由して「物見の丘」に続く道では、途中に「窯の歴史館」、「繭玉広場」があり、平安時代の古窯などを見学することができます。さらに〈森の生き物〉として、ムササビ、リス、ヤマカガシ、カナヘビ、アメンボなどたくさんの生き物に出会うことができます。また、道の脇にはイノシシが夜中に食べ物を探していた痕跡がそこかしこに見られます。自然を感じながら色々な発見をしてみてください。

所要時間：約 30 分





＜海上の森の麓に生まれて＞

海上の森の会 事務員 中元恵子さん

私は海上の森の麓の屋戸町に生まれ育ちました。昭和40年代の森は里の生活を支える大切な存在でした。私も物心ついた頃には祖母と山に薪を取りに行く毎日でした。そして森で薪を拾いながら祖母にこれは食べられる実、この木には触ってはいけない、この葉はいい匂いがする・・・などと色々教わったものです。春は、ワラビ採りに張り切って出かけ、夏休みになると、いまの屋戸湿地で水遊びの毎日。釣りをする兄の横で弟とイモリやサワガニを捕まえて過ごし、夏の終わり頃には、サギソウを手を持ちきれないほどに摘んで、押し花にしたりして楽しみ。秋には父と犬をおともにキノコを採りに行き、「今日は山のご飯だ!」とキノコどんぶりを楽しんだものです。年末になると餅つきの日にはウラジロを採ってくるのは子供の仕事でした。

そんな風に里のものは森と関わり、森のめぐみを受け、森を大切に暮らしてきました。父が山を歩けた最後の冬には兄を連れて山に入り、松明にする松の場所（私有地です）を兄に教えて行ったそうです。自分が死んだらこの木で迎え火を炊いてくれよと・・・。

私は海上の森に愛着があります。その思い出いっぱいの海上の森を守る「NPO 法人海上の森の会」の事務員になり、日々、森と会話する毎日です。このまま森を次世代に残していけたらと願っています。



春の海上の森

センター職員の随想リレー

かたりべのひと言

都会にはない風景

4月より、新しくセンターにて勤務させていただいております。ここ海上の森では、私の住んでいる地域では見ることができないような生き物もたくさん存在し、非常に驚いております。遊歩道を歩いているだけでもムササビが巣箱から顔を覗かせ、キツツキが木をつつく音が聞こえ、頭上をトビが飛び回り、へび（ジムグリ?）に遭遇し、イノシシの食痕があり、ルリタテハに出迎えられ・・・などなど。以前に私の父と一緒に森の中を歩いた際は、父から「なんだか懐かしい気分だ。」との言葉が出ました。貴重な生き物がいるということもそうですが、昨今の都会や都市近郊では見られなくなってしまった、「昔からの森の風景、生き物たち」を見ることができるようになるのも、海上の森の魅力のひとつではないでしょうか。

(Y・I)

＜プロフィール＞

海上の森で生まれ育ち、「NPO 法人 海上の森の会」の事務員として、海上の森を守る活動を行っている。



森のなかま

ムササビ②

ムササビは、リスの仲間です。体重は約1kg。頭から尾の先までの体長は70cmくらいです。研究者の調査によると巣の中にスギ皮を敷き詰めることからスギ・ヒノキの森を好むようです。また、ムササビはコナラ、シイ・カシ、サクラ等100種類を超える木の葉、実や花を食べるようです。

海上の森センターでは巣箱を設置し、巣箱の利用状況をとおしてセンター周辺に生息しているムササビの頭数等を調査しています。平成24年度の調査では、センター周辺に4頭程度のムササビが巣箱を利用しているようです。昼間、ときに巣箱から顔を出していることがあります。一度、センター周辺の巣箱を見にお願いください。 絵と文 SKI



参加者募集 もりもり 集まれ!



平成 25 年度あいち海上の森大学受講者を募集します

あいち海上の森センターでは、持続可能な環境・社会を目指すために、自然環境の価値観、人と自然の関係性、里山と森の相互関係などについて、もう一度基礎から学び、しっかりと考える場を設けることを目的として、平成 19 年から 10 年間、あいち海上の森大学を開校しています。

開校期間は 7 月～平成 26 年 1 月で、今年度は以下のコースを開催予定です。

○森林再生・里山文化コース (全 20 日間)

当コースでは、森林の再生に向けた取組や地球環境に対し森林が果たす役割などを広く学ぶとともに、里山の文化をくらしや社会・経済活動にどのように活かしていくかを海上の森での実践から学びます。

○国際交流コース (全 4 日間)

留学生など、外国籍の方が対象となっています。日本の自然やその保全への取組などを解説します。他コース受講者との交流を通じて活動の幅も広がります。



平成 24 年度 講義(森林再生コース)の様子

受講料は無料で、どちらか一つを受講できます(他コースの聴講はできます)。また、開校記念講演と、一部の基礎講座は一般聴講を受け付けます。

過去の講義内容は、あいち海上の森大学ホームページ上で公開しています。入学・一般聴講を希望する方は、同ホームページ上の募集要項にしたがって、申し込みを行って下さい。締め切りは 6 月 30 日(日)になります。

公式ホームページ「あいち海上の森大学放送局」
<http://www.mu-academy.jp/daigaku/index.aspx>

海上の森体験学習プログラム



イベント名	開催日	定員	募集期間
調査学習会 ー海上の森のキノコー	7/21 (日)	50 名	5/21 - 7/7
調査学習会 ー海上の森の水生生物ー	8/4 (日)	30 名	6/4 - 7/21

対象:小学生以上、小学生は保護者同伴

《応募方法》
 官製はがき、FAX または E-mail に ①参加希望プログラム名 ②住所 ③氏名 ④電話番号を記入し(応募者の住所等が異なる場合は全員分)、申込期限(当日消印有効)までに下記の申込先へお申し込み下さい。申込多数の場合は、抽選により決定し結果を通知します。

《申込先》
 NPO 法人 海上の森の会 (〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1 「あいち海上の森センター」内「海上の森の会」事務局
 TEL/FAX: 0561-21-9298 E-mail: morinokai2004@kxa.biglobe.ne.jp)

編集後記

寒い日も過ぎ去り、暖かな陽気を肌を感じる事ができる季節となりました。森の木々も芽吹き、鳥のさえずり、虫の声などで賑やかさが戻ってきました。森が暖かい季節の訪れを喜んでるように感じられます。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)

発行日 平成 25 年 6 月 1 日
 〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1
 TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841
 E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp
 URL: <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>

